

音象徴性の普遍性と言語特有性

~Universality and language specificity of Sound symbolism~

総合政策学部4年 71009021 安福佳奈子
s10902ky@sfc.keio.ac.jp

言語の恣意性

Arbitrary link between form and meaning



言語形式-意味の結びつきは社会ルールによって構築される (by Ferdinand de Saussure (1959))



音象徴性

Sound symbolism



図: Berlin, B. (2006). The First Congress of Ethnolinguistic Nomenclature. *Journal of the Royal Anthropological Institute*, 12, S23-S44. doi:10.1111/j.1467-9655.2006.00271.xより抜粋

どっちがキキ(タケテ)? ブーバ(マルマ)?
Which one do you think Kiki (Takete)?
and Bouba (Maluma)?

Research Question :

異なる言語話者間で、どのような音韻構造が普遍的 or 言語特有的な(動きの)音象徴性を持つか?
また、普遍的な音象徴性は子どもも同じような意味(動き)に結びつけやすいか?

音象徴性が**普遍的**である場合:
同じ音韻形式が同じ意味に結びつけられるはず...

VS

音象徴性が**言語特有的**である場合:
同じ音韻形式が異なる意味に結びつけられるはず...

仮説

	日本語話者	英語話者	日本語話者(3歳児)
鼻音 (Nasal) : /n/, /m/	Slowな(遅い)動きと結びつける		
拗音 (Affricate) : /ch/	Lightな(軽い)動き	Heavyな(重い)動き	英語話者or日本語話者に同じ
声門音 (Glottal) : /h/	Non-energeticな(力が抜けた)動き	Energeticな(力強い)動き	英語話者or日本語話者に同じ

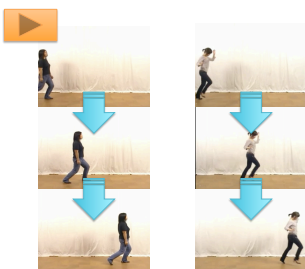
音刺激とビデオのマッチング
タスク(本実験)にて検証...

実験結果

日本語話者、英語話者、日本語話者の3歳児の中で、日本語話者は他の被験者より有意に音象徴性を用いて、仮説通りに動きと音を結びつけた

Nasal		Glottal		Affricate	
mara	nara	hara	Φara	tjara	tyara
mira	nira	hira	Φira	tjira	tyira
mura	nura	hura	Φura	tjura	tyura
mera	nora	hora	Φora	tjora	tyora

①音声再生

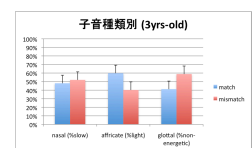
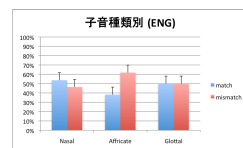
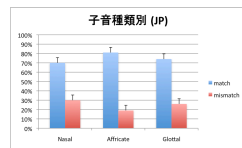


②2種類のビデオを同時に再生



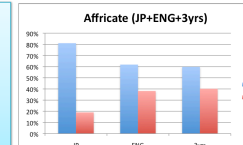
③コーディングシートに記入

収集したデータをRにて、t検定、分散分析、回帰分析により分析した

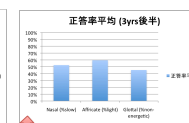
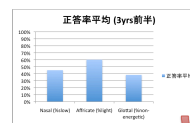


日本語話者はどの母音においても有意に仮説と同じ動きに結びつけた。
英語話者、日本語話者の3歳児は特定の母音を特定の動きに結びつけるという傾向は見られなかった

日本語話者、英語話者、日本語話者の3歳児、全被験者において拗音(Affricate)が普遍的に同じLightな(軽い)動きに結びつけられた



日本語話者においてのみ、子音と母音の相互作用が回答に影響していた(p<.05)
Affricate + /a/, /e/
Glottal + /a/, /u/, /e/



3歳児前半(36ヶ月~41ヶ月)と3歳後半(42ヶ月~47ヶ月)を比較すると、Nasal (鼻音)とGlottal (声門音)のマッチングが3歳児前半よりも後半の方が日本語話者大人と似たものになる傾向にあった

結論

- 日本語話者は英語話者より高い確率で音象徴性を用いて音と動きを結びつけた。
- 拗音(Affricate)が英語話者と日本語話者、日本語話者3歳児に**普遍的な音象徴性**であり、鼻音(Nasal)と声門音(Glottal)は言語特有的な音象徴性であるということがわかった。